

令和6年度一般社団法人秋田市医師会事業計画

【 大項目 】

- A 学術活動および生涯研修の推進
- B 地域医療と保健
 - 1. 地域保健活動の強化
 - 1) 母子保健・性教育
 - 2) 乳幼児保健
 - 3) 予防接種・感染症対策
 - 4) 学校保健
 - 5) 産業保健
 - 6) 成老人保健・各種検(健)診
 - 7) 精神保健
 - 8) 健康スポーツ医学
 - 9) 健康教育
 - 10) 大災害時医療体制
 - 11) 新型感染症対策
 - 2. 勤務医と開業医との連携強化
 - 3. 在宅医療事業の推進
 - 4. 高度医療機能活用推進事業の推進
 - 5. 秋田県医師会事業への参加・協力
 - 6. 関係団体等との連携強化
 - 1) 秋田県総合保健事業団への協力
 - 2) 秋田市三師会への協力
 - 3) 秋田地域産業保健センター事業への協力
- C 医師会組織の強化
 - 1. 市医師会事業の検討
 - 2. 医師会運営の合理化
 - 3. 定款および諸規程の改正
 - 4. 勤務医の組織力向上
 - 5. 医療機関連携強化と診療情報提供・開示
 - 6. 班活動
- D 保険医療の研究
- E 介護保険制度への対応
- F 会員福祉の充実
 - 1. 会員・従業員親睦活動の推進
 - 2. 医療経営対策
 - 3. リスクマネジメントと医療安全対策
 - 4. 資産管理
 - 5. 共済会との連携
- G 看護要員養成と看護教育の質の向上
- H 医療情報システムの充実
- I 広報活動
 - 1. 会報の充実
 - 2. 各種情報の提供
- J ボランティア活動の推進
- K 医事紛争

【 詳 細 】

A 学術活動および生涯研修の推進

生涯教育研修の推進 [柴田 聡 理事]

日本医師会生涯教育制度に基づき、自己研鑽の意欲の発揚と効果的な研修が行える環境作りを目指す。その一環として、時宜を得たテーマで医学集談会をはじめとした研修会を開催する。

B 地域医療と保健

1. 地域保健活動の強化

1) 母子保健・性教育 [田中秀則 理事]

秋田市内の中学校・高等学校の性教育講座に講師を派遣し、母子保健・性教育事業の実施に協力する。

2) 乳幼児保健 [稲見育大 理事]

① 乳幼児健康診査への協力

定期の乳幼児健診への協力のほか、健診時育児アンケート事業への協力とその成果の検討を継続して行う。

② 講演会の開催

乳幼児健診に関する様々な課題について講演会を開催し、会員の資質向上を図る。園医と幼稚園・保育園関係者に対して、園児の健康管理に関する講演会を行い、会員の資質向上と、関連機関との連携を図る。

3) 予防接種・感染症対策 [小松真紀 理事]

① 定期接種ワクチンについて

定期接種ワクチンについて、より一層の接種率向上をめざし対象者に周知するよう努める。HPVワクチンのキャッチアップ接種が令和4(2022)年4月～令和7年(2025)年3月の3年間行われており、対象者へ情報が伝わるよう働きかける。また、現在使用されている四種混合ワクチンおよびヒブワクチンが、令和6年4月1日からこれらを含む五種混合ワクチンに変更されることに伴う対応を進めていく。

② 秋田市における任意接種ワクチンの助成について

令和5年度は小児のインフルエンザワクチン接種に対する助成が再び廃止されたが、おたふくかぜワクチンと合わせて県内他の自治体同様継続的な補助が行われるように求めていく。

4) 学校保健 [稲見育大 理事]

【学校保健委員会】

① 学校医活動が円滑に進むよう、秋田市教育委員会、秋田市学校保健会と連携を図る。

② 学校保健大会を通じて、学校歯科医部、学校薬剤師部、校長部、保健主

事部、養護教諭部、栄養教諭・学校栄養教員部、秋田市教育委員会と協力し、学校保健の向上を図る。

- ③ 学校保健に関する様々な課題について秋田市と共催で講演会を開催し、学校医の資質向上を図る。
- ④ 各種学校検診では、循環器小委員会、腎疾患小委員会、運動器・側わん症小委員会において、各種学校検診の精度向上と二次検診の受診率向上を図り、学校における健康課題の適切な対応に努める。
- ⑤ 学校保健に関する記事の会報掲載については、引き続き継続・発展を図り、会員へ情報提供を行う。

【学校医心の問題委員会】

- ① 発達特性により集団での生活や学習に困難を抱える児童生徒やSNS等に関するトラブルやいじめ・不登校などによる苦悩を抱える児童生徒の心の問題に関して、会員および学校関係者を含むこどもにかかわる人を対象として講演会を開催し啓発活動に努める。

5) 産業保健 [柴田 聡 理事]

産業医活動の支援を継続する。

6) 成老人保健・各種検(健)診

- ① 特定健診等 [村田雅彦 理事]

秋田市が実施する特定健診の受診率向上と保健指導の実施率向上を目指す。秋田市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)に基づいて実施される「秋田市糖尿病重症化予防事業」等に協力する。

- ② 肺がん検診 [柴田敬一 理事]

新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ検診者数の回復を図るため、関係機関と協力し感染対策を徹底した検診事業を行ってきたが、未だに検診者数の回復は鈍い。今年度は女性限定の検診日を再開する予定であり、今後も受診に向けた啓発活動を継続する。

肺がん検診の読影精度向上のため、肺がん症例の検討を主体とした研修会を開催する。読影医には年1回の研修会への参加が義務化されており、日程調整など県医師会とも連携し計画する。

- ③ 消化器がん検診 [及川圭介 理事]

消化器がん(胃がん・大腸がん)の早期発見を目指し、検診の受診を促す施策、および二次検診の充実について討議する。また、研修会を開催し、検診の精度向上を目指す。

- ④ 骨粗しょう症検診 [三浦利哉 理事]

昨年に引き続き、広報活動を継続して受診率の向上を図る。

- ⑤ 子宮がん検診 [田中秀則 理事]

子宮頸がん検診は、これまで20歳以上の方に2年に1回細胞診単独法により実施していたが、令和6年度以降、体制整備、関係者の理解、協力等

が得られた市町村から順次、指針に基づく「HPV検査単独法」の導入も可能となるとされている。なお、30歳から60歳は5年に1回の検診になるため検診受診機会が減少することから、子宮体がんや卵巣がんなど発見の遅れも憂慮されるなど様々な問題が考えられるため、検診受診率、ワクチン接種率の更なる向上を目指すとともに、国からの情報、日本産婦人科学会等の専門機関からの情報を収集し、会員へ迅速・適切に情報提供する。

⑥ 乳がん検診 [村田雅彦 理事]

「がん予防重点健康教育およびがん検診実施のための指針」に基づいて実施される乳がん検診の受診率向上を図る。精度管理や事業評価への協力、研修会を県医師会と共催するなど、質の高い乳がん検診を目指す。

7) 精神保健 [藤枝信夫 理事]

【自殺予防対策委員会】

秋田市保健所と連携し、会員向けの講演・勉強会を行う。

【認知症対策委員会】

認知症治療に携わる会員の多様なニーズに応え、認知症の早期発見・専門医への紹介タイミング、予防法などを勉強する講演会、および、かかりつけ医向けの研修会を開催し、認知症診療の肝である「気づき」と「連携」に力を入れる。

8) 健康スポーツ医学 [柴田敬一 理事]

本会ホームページに掲載している健康運動マップを更新し、施設利用情報の充実を図り、生活習慣病予防のための運動習慣作りを啓発していく。

9) 健康教育 [田中秀則 理事]

秋田市で行っている健康教室などへ講師派遣を行うなど、健康教育の充実に努める。

10) 大災害時医療体制 [村田雅彦 理事]

【大規模災害医療対策委員会】

直近の災害経験を通して、まずは会員の安否確認と診療可能か(家族・職員や施設の状況など)の確認、加えて近隣の被災状況や救護所の状況等に関する情報収集の重要性を実感した。地域班活動の活性化とともに、安否確認と情報収集・伝達方法強化のため「安否確認システム」アプリの導入を検討している。秋田市や保健所との連携強化を図り、昨年から取り組んでいる災害対策マニュアルの改訂を急ぎたい。

11) 新型感染症対策 [濱島由紀 理事]

【新型感染症対策委員会】

① 今後の新興感染症にそなえ秋田市医師会、秋田市保健所、市中5病院(秋田県立循環器・脳脊髄センター、市立秋田総合病院、秋田厚生医療センター、秋田赤十字病院、中通総合病院)との連携、さらに秋田大学医学部附

属病院、秋田県医師会、秋田県庁との連携の構築について協議する。

② ①に基づきパンデミック時またはそれに準ずる状況と判断され、かつ夏、冬の会員の長期休診に重なる場合には速やかに発熱外来を開始できるような手順を整える。

③ パンデミック時に行政、他医療機関、会員から届く情報(医務・薬事、ワクチン、支援金、特別加算等)を迅速・正確に会員に提供する。

2. 勤務医と開業医との連携強化 [三浦利哉 理事]

地域の医療連携に取り組み、継ぎ目のない医療の提供を目標にした病診連携のあり方を検討し提案する。

在宅医療・緩和ケアネットワークシステムの充実を図り、適切な医療連携の強化を推進する。

3. 在宅医療事業の推進

訪問看護ステーション [長谷山俊之 理事]

運営状況を把握し、業務内容および勤務態勢の見直しをする。また、利用者へのサービス向上に努め、利用者数の増加を図り、結果として収益の向上を目指す。

在宅医療・介護連携 [長谷山俊之 理事]

適切かつ有効な在宅医療の実現のため、秋田市在宅医療・介護連携センターの運営を通じて地域の医療機関と介護事業所による医療と介護の包括的な連携を推進する。

医療・介護に関する多職種のスキルアップを目的とした研修会やセミナーを開催する。

市民に向けた医療・介護への理解を深めるための講演会を開催する。

4. 高度医療機能活用推進事業の推進 [豊田知子 理事]

秋田県医師会の事業として運用されている医療連携ネットワーク、「あきたハートフルネット」を活用し、有効かつ実用的な連携体制の構築を目指す。

5. 秋田県医師会事業への参加・協力 [石川達哉 副会長]

秋田県医師会と連携を密にして、講演会、研修会を共催するほか、大規模災害対策・新興感染症対策をはじめとした各種事業に協力して取り組む。

6. 関係団体等との連携強化

1) 秋田県総合保健事業団への協力 [濱島由紀 理事]

秋田県総合保健事業団と連携を密にし、引き続き協力する。

2) 秋田市三師会への協力

【三師会合同委員会】[熊谷 肇 副会長]

秋田市医師会、秋田市歯科医師会、秋田県薬剤師会秋田中央支部で三師会を構成し、合同委員会で共通する課題を協議する。また、勉強会を開催して意見交換を行い、連携強化を図るとともに会員へ情報を提供する。

3) 秋田地域産業保健センター事業への協力

【秋田産業保健総合支援センター 秋田地域窓口】[柴田 聡 理事]

健康相談、個別訪問指導、面接指導などを通じて、「働き方改革」や「健康労働」意識の高まりに対応していく。また、ストレスチェックや治療と職業生活の両立支援の取り組みなど、会員へ情報を提供する。

C 医師会組織の強化

1. 市医師会事業の検討

総務・事務局運営 [濱島由紀 理事]

定時社員総会を開催するほか、必要に応じて臨時社員総会を開催する。また、地域別班協議会、班長役員合同会議を例年通り開催する。

理事会運営会議を有効活用し、理事会が円滑かつ合理的、そして一層充実するように努める。

事務局運営では、事務処理の正確さ、迅速さに重点をおき、適正な人事管理と人事評価の方法を検討するとともに、各事務職員の責任所在を明らかにし、かつ仕事に対する意欲向上を促す。

2. 医師会運営の合理化

会計 [及川圭介 理事]

医療制度の改定や社会情勢の変化に対応し、今後も多様化する医師会業務が円滑に遂行できるように、会計業務に努める。

非営利型の一般社団法人としての本来の目的を正しく認識し、一般会員の不利益にならぬように予算を編成し、医師会業務を実行する。

事業運営基金の効率よい運用を引き続き検討する。

3. 定款および諸規程の改正

制度検討 [濱島由紀 理事]

本会事業の実施状況および医療情勢を見極めるとともに、変化に制度が対応しているか注視し、必要に応じて定款等を改正する。

本会功労会員規程に則り功労者表彰を行う。

本会のロゴマークを有効に活用する。

大学医学部卒後5年目までの会員の会費減免(無料化)を引き続き実施し、会員の増員を図り、制度の定着に取り組む。

4. 勤務医の組織力向上

【勤務医委員会】[千田佳史 理事]

勤務医にとって魅力のある事業や行事を企画し、医師会加入率を向上させ、組織強化を図る。

5. 医療機関連携強化と診療情報提供・開示

開業会員指導 [熊谷 肇 副会長]

新規開業会員にオリエンテーションを実施し、医療安全管理、保険診療、個別指導、医業広告、患者対応、従業員対策などについてアドバイスをする。班活動を通じての地域の連携、医師会活動への積極的な参加を要請する。

6. 班活動 [濱島由紀 理事]

執行部が班の活動状況を把握することは重要である。今年度は各班の班活動報告書の提出を年内とし、各班から提起された問題点、医師会での協議事項などを可能な限り年度内に解決し、実行・発言することを目標とする。

D 保険医療の研究 [藤枝信夫 理事]

会員の理解および周知を図るため、適宜必要な情報を会員に提供する。

従来と同様、指導の対象となった医療機関との事前検討会を継続する。

必要に応じ、県医師会の社保担当理事、審査委員などに講師を依頼し、会員向けおよび医療機関の事務職員向け勉強会を開催する。

診療報酬に係る諸問題について検討する。また、社保指導で指摘の多い事項についても検討する。

E 介護保険制度への対応 [長谷山俊之 理事]

保険診療における介護保険制度の影響について検討し、必要に応じて会員に情報提供を行う。

在宅医療研修会を適宜開催し、基幹病院との連携の強化および施設など多職種との情報交換を行い、在宅医療の発展、拡充を目指す。

秋田市介護保険課と連携を密にして、介護が必要な高齢者に対する医療の充実を図る。

地域包括ケアシステムの構築を進めていく。

F 会員福祉の充実

1. 会員・従業員親睦活動の推進

【福祉厚生委員会】[山崎一春 理事]

会員のためのレクリエーションとして、ゴルフコンペ、麻雀大会、テニス大会などを開催する。囲碁大会は秋田県医師会と共催する。

本会功労者表彰を永年勤続表彰・納涼親睦会と合同で行う。また、喜寿のお祝い、新年親睦会も行う。

2. 医療経営対策

【医療経営問題検討委員会】[山崎一春 理事]

医療経営に関わる問題点について会員の声を参考に検討し、アンケート等を実施する。

3. リスクマネジメントと医療安全対策

【医療安全管理委員会】[豊田知子 理事]

各診療所・医療機関における医療従事者の事故防止・安全対策について、現状の把握に努め、必要に応じて対策を協議・検討し、啓発活動を進める。

4. 資産管理 [及川圭介 理事]

引き続き適切に管理していく。

5. 共済会との連携 [山崎一春 理事]

会員の相互扶助のための連携事業を引き続き進め、会員の負担にならないように事業を行う。

G 看護要員養成と看護教育の質の向上

看護教育 [千田佳史 理事]

慢性的な看護師不足にある社会情勢から、看護師養成機関として秋田市医師会立秋田看護学校を引き続き運営し、全人的教育を行って、より信頼される看護師の養成に努める。

国が推進する高等教育の負担軽減措置を在学生在が受けられるようにするため、各種規程の整備や学校関係者評価の実施など、認定要件を満たすための取組を進める。

老朽化した校舎の耐震補強および大規模修繕工事は平成28年度に終了したが、部分的な修繕その他教育環境の整備を計画的に実施する。

H 医療情報システムの充実

【医療情報委員会】[豊田知子 理事]

適宜ホームページを更新し、利便性の向上、情報の充実を図り、市民に活用されるホームページを目指す。

日本医師会の標準レセプトソフト(ORCA)も含め、オンライン資格確認、電子処方箋の情報を収集及び提供し、会員が使いやすい環境を整備する。

I 広報活動

1. 会報の充実

【会報編集委員会】[小松真紀 理事]

様々な医療情報が発信されていく中、会員の興味を引き、信頼・愛着を持って頂けるような会報の紙面作りを進める。

2. 各種情報の提供

【広報委員会】[田中秀則 理事]

日常の旬な医療情報を市民に提供するため、引き続き「医療を考えるつどい」を企画する。また、開催に向け市民がどのような情報を求めているのかりサーチし、有意義なものとする。

【たばこ問題検討委員会】[柴田敬一 理事]

禁煙指導講習会等を企画して助言者、指導者を増やし、禁煙に向けた啓発活動と禁煙を完遂するための治療および指導を充実させる。

J ボランティア活動の推進

【ボランティア委員会】[藤枝信夫 理事]

ボランティア窓口の充実を図り、各団体からの依頼に叶った講演講師の派遣や健康行事における医療救護医師の派遣など、市民が医師会の姿を認識するための一助とする。

K 医事紛争

医療事故・医事紛争 [石川達哉 副会長]

医療安全管理委員会の活動を通じ、医療事故の発生を未然に防ぐように会員に働きかけるほか、医師患者間の信頼関係構築を支援する。

医療訴訟、医事紛争処理には県医師会と連絡を密にして対処し、種々のサポート体制を整備していく。